

支援プログラム

法人（事業所）理念		・法人と施設の組織を有効に機能させ、利用者、職員、保護者の意見を尊重し、利用者、職員の生活向上のため優れたアイディアは積極的に取り入れるなど、利用者の利益を優先する運営管理を行なうよう努める。 ・利用者と職員があ他害に人間として尊重しながら利用者１日ひとりにあった生活をし、生きがいをもって暮らすことができるよう努める。 ・保護者、地域社会との交流を密にすることにより、皆から親しまれる法人を目指す。										
支援方針		・支援を必要とするすべての未就学障害児へのサービス提供を行うこと。 ・利用児・保護者の思いを受け止め、安心して利用できる場の提供を行なうこと。 ・子どもの成長段階と共に生じる環境の変化に応じ、子どもと家族の将来を見据え、一貫した支援の提供を行なう。 ・行政、医療機関、教育機関等と連携しスムーズに情報共有を行なうこと。 ・見通しがつく子育て支援を地域全体で支えること。										
営業時間		9	時	00	分から	15	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・着脱練習、トイレトレーニング、食事支援を通して日常生活に必要な動作の獲得をする。 ・始まりの会やお支度などみらいの流れの理解し、始まり、終わりの意識をつけて自分で切り替えられる力をつける。										
	運動・感覚	・運動プログラムでのサーキットで平均台やトンネル、バランスボールを出して体幹やバランス感覚を養う。 ・粘土や絵の具を使った感覚遊び、折り紙やハサミを使つての創作活動を通して、視覚や触覚の感覚を養う。										
	認知・行動	・個別課題の提供を行い、プットインやマッチング、パズル等の課題に取り組み認知力や指先の力を高める。 ・お友達への物の受け渡しや遊びに誘う場面を設け、他者を意識し顔と名前が一致することができるよう促し、関わりを深めていく。										
	言語 コミュニケーション	・お店屋さんごっこを通して、お友達と言葉やサインを使つてのやり取りをする場面を設ける。 ・SSTを実施し、場面に合わせた言葉や気持ちの理解ができるよう促す。										
	人間関係 社会性	・ルール性のある遊びを通して、約束事や他者との協調性を高めていくことを促す。										
家族支援		6ヶ月に１回のモニタリング面談と併せて、必要に応じて個別及びグループにて本人・ご家族（きょうだい含む）のそうだん援助を行なう。また、保護者の支援場面の観察や参加の機会を通じて子どもの特性や特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶ機会を提供する。							移行支援		・就学に向けたサポート。放課後デイサービスの利用希望児にはここいろへの引継ぎを行なう。 ・幼稚園や保育園を併用利用している子には、園見学を行い様子観察、園の先生との情報の共有を図る。	
地域支援・地域連携		・就学に向けたサポート。放課後デイサービスの利用希望児にはここいろへの引継ぎを行なう。 ・幼稚園や保育園を併用利用している子には、園見学を行い様子観察、園の先生との情報の共有を図る。							職員の質の向上		・法人内での研修や東京都からの研修を受けることで、支援の質の向上を図っている。	
主な行事等		見学週間（月１回）、夏祭り（８月）、ここいろとの合同イベント（１０月）、親子遠足（１１月）、クリスマス会（１２月）、その他活動内で調理、外出、買い物体験のイベントを実施。										